

日本小型自動車振興会について

平成17年11月14日
日本小型自動車振興会



1. オートレースの現状

平成3年度をピークに売上が13年連続マイナス
施行者収支状況も悪化し、平成16年度決算は8施行者中7施行者が赤字
法に基づく事業収支改善計画を3施行者が提出

構造改革

各場年間108日「開催権」の観念を打破
開催日数の削減と販売能力に見合った場別配分
相互場間場外の活用・販売チャンネルの拡大(場間場外発売540日 1,278日)
選手賞金総額的大幅カット(84億円 64億円)
施行者業務の包括的民間委託
日動振のリーダーシップによる構造改革の実施

平成17年度4月～10月実績
総売上 前年比103.3% 1日平均売上 122.4%
「下げ止まりの兆し」

2. オートレースの将来展望

お客様が求める魅力・迫力のあるオートレースの提供
インターネットを活用した売上拡大策の展開
オートレース場6場が共存共栄していく体制の強化
包括的民間委託の推進による経営体制の刷新



お客様の裾野を拡大
モータースポーツとしての
社会的認知度を向上させる

3. 補助事業のより一層の透明性・公平性の向上

日本小型自動車振興会の補助事業

オートレースは健全な娯楽・レジャーとして親しまれており、その売上金の一部は、日本小型自動車振興会を通じて、広く社会に役立てられています。



(社)日本ロボット工業会



(財)世界少年野球推進財団



(N)九州車いすテニス協会



(社)日本エアロビック連盟



(N)嘉穂劇場



(N)きらら山口福祉の会

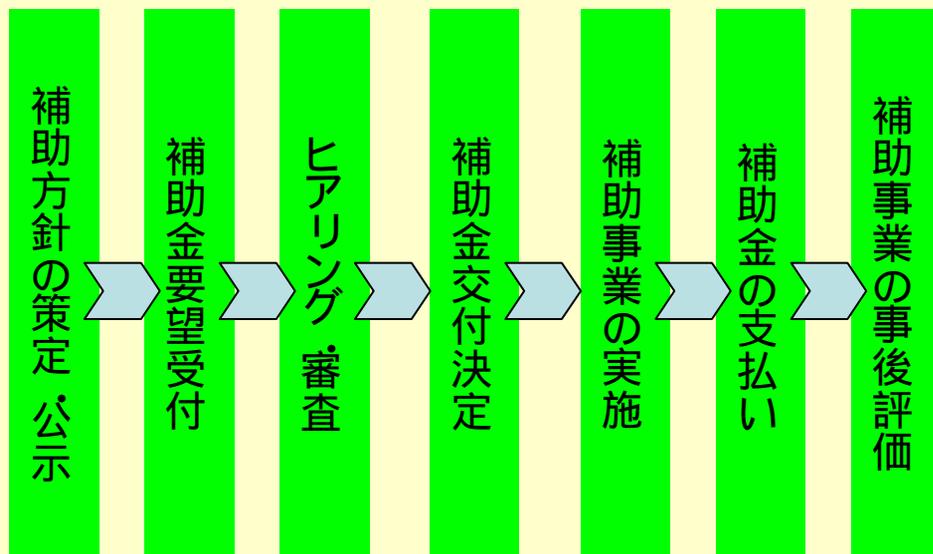
3. 補助事業のより一層の透明性・公平性の向上

補助事業はオートレースの社会的地位・認知度の向上・社会への貢献を果たす役割を担っている。

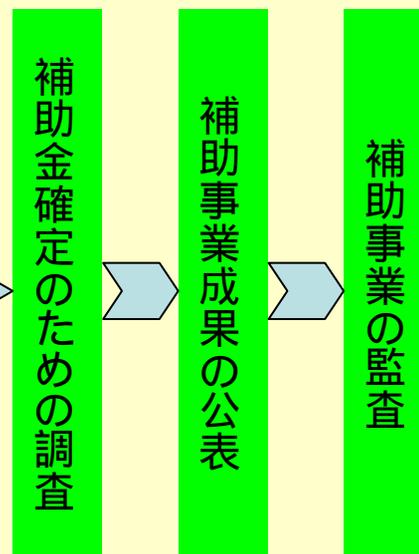
補助金交付に当たって、そのプロセスである審査や評価を充実させ、より一層の透明性・公平性の向上を図る。

改革案

第3者委員会による一貫したチェックで客観性の向上



外部監査法人の活用



4. 組織・事業の効率化に向けての取組

組織の改編

職員数の削減及び組織の改編

52名



36名

〔職員数の30.7%削減〕

(平成16年度)

(平成17年度現在)

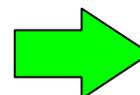
業務部 3課 → 2課 (業務課、管理課の統合)
振興部 3課 → 2課 (機械工業課、公益事業課の統合)
企画部 事業推進課を新設

小型自動車競走の制度及び運営に係る施策の企画・立案及び推進を目的に新設。

事務所面積を縮小

〔事務所経費の削減〕

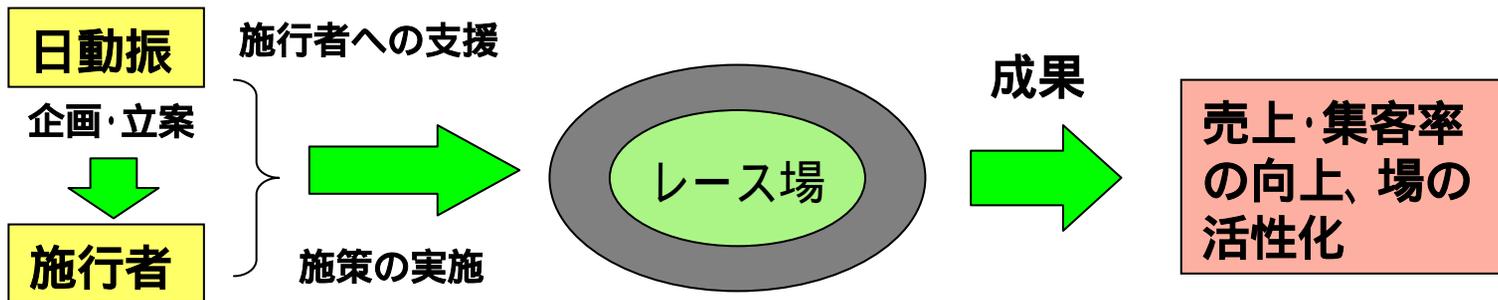
成果



業務の合理化・効率化

活性化プロジェクトチームの立ち上げ

レース場ごとに担当職員を定め、現場に出向いて経営改善に係る支援や、顧客サービスの改善などの企画・立案・実施を行う。



今後、より機動的かつ柔軟に組織改革を進めるため、公益法人化することが望ましい。

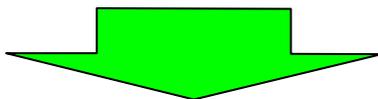
4. 組織・事業の効率化に向けての取組

他公営競技とは全く異なるオートレース競技

- (1) 500mアスファルト走路における最高時速150km/hの高速レース
- (2) 選手の能力に応じた距離ハンデ
- (3) 規格エンジン
- (4) マシン整備技術と高速かつ安全な走行技術
- (5) 各レース場に設けられた選手の固定ロッカー

日動振は構造改革に向けて全力投入中

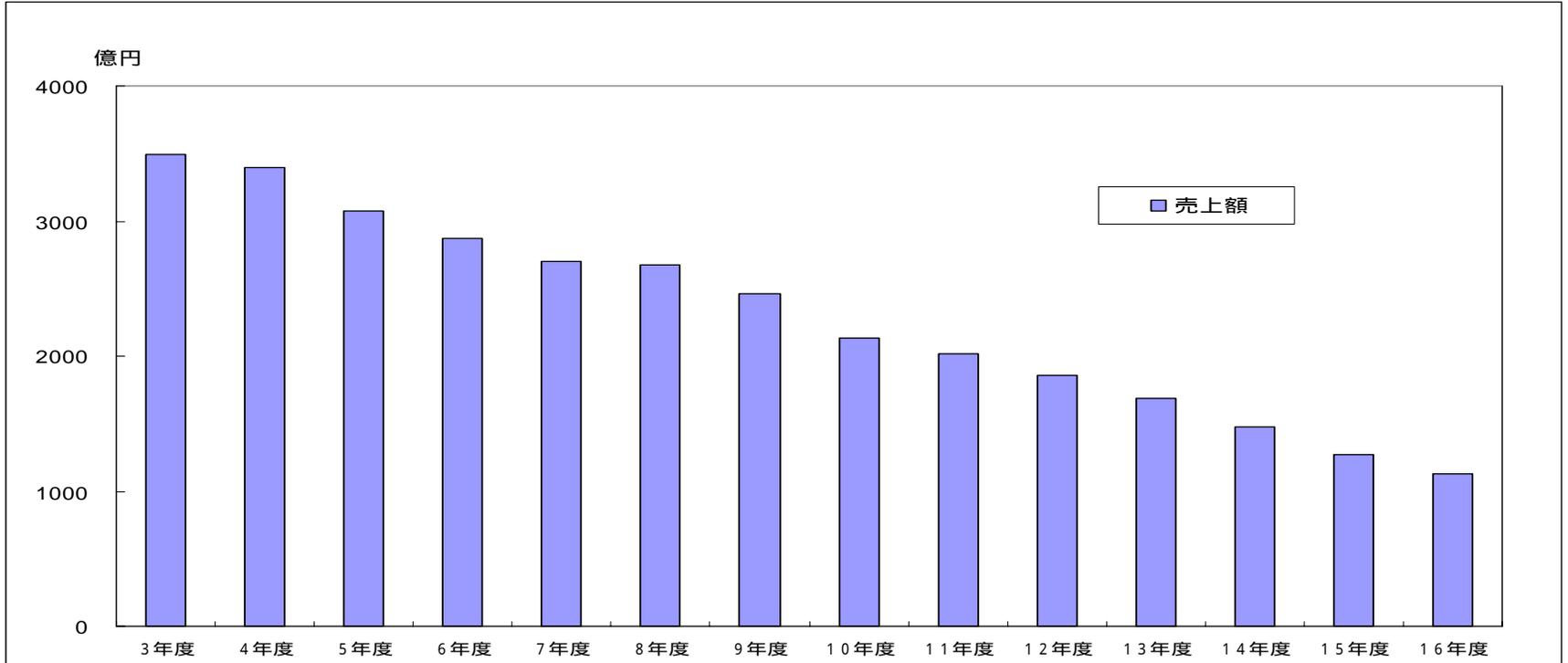
- ・ 施行者、競走会、選手会等など業界が一丸となった構造改革が進行中
- ・ オートレース事業再生の中核となる日動振の責任
- ・ オートレースを支援するお客様に対する信頼性の確保



結論

日自振との統合はオートレース事業の活性化を阻害する。

オートレース売上の推移(平成3年度～平成16年度)



平成3年度が売上のピーク。

売上

	売上額(百万円)	前年比
3年度	349,777	-
4年度	339,405	97.03%
5年度	307,610	90.63%
6年度	287,062	93.32%
7年度	270,112	94.10%
8年度	267,534	99.05%
9年度	245,805	91.88%
10年度	213,060	86.68%
11年度	201,554	94.60%
12年度	185,666	92.12%
13年度	168,803	90.92%
14年度	147,672	88.41%
15年度	127,069	86.05%
16年度	113,043	88.96%

開催日数の削減

平成16年度664日 平成17年度504日

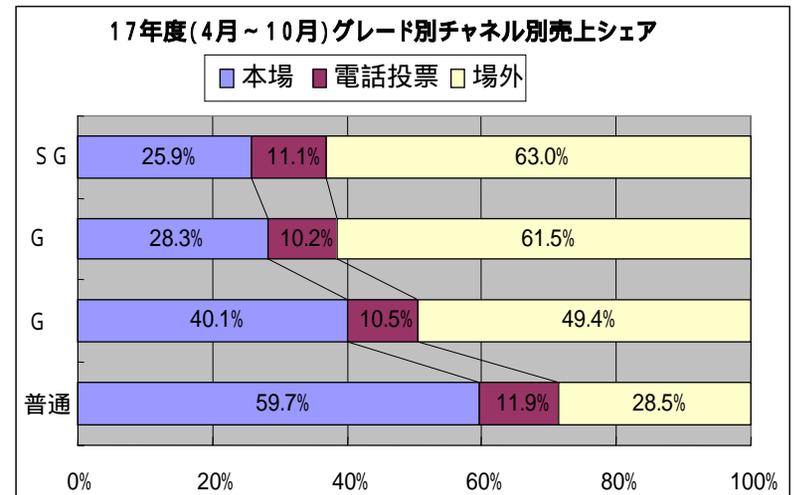
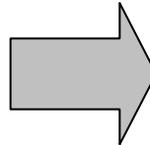
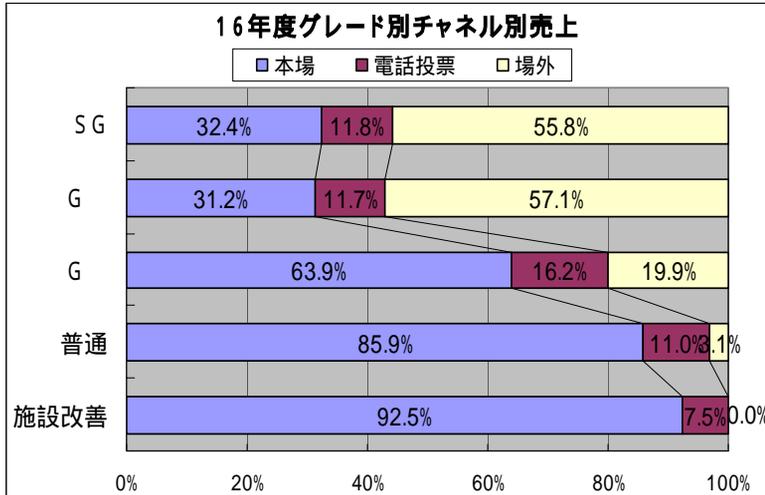
販売能力に見合った日数配分

船橋レース場72日、川口レース場112日、伊勢崎レース場88日、

浜松レース場88日、飯塚レース場88日、山陽レース場56日

場間場外発売の実施拡大

平成16年度540日 平成17年度1,278日



平成17年度施設改善レースは非開催

日動振活性化プロジェクトチームによる各施行者への主な支援



オートレースイメージキャラクター小倉優子による「ゆうこりん車券」の発売



競走車とモタードバイクとのエキシビジョンレース



場内表彰式でのシャンパンファイト



飯塚・ナイターレース実現への支援



千葉ロッテマリーンズとのコラボレーション



メカニカルスクールの開催
(選手による模擬整備及び解説)